

通常議員総会開催

去る六月二十三日(火)、当所四階において、通常議員総会を開催し、平成二十年度事業報告及び収支決算を審議、原案通り可決承認されました。

総合的 事業概要

当商工会議所は事業の重点項目を地域経済発展に関する「政策提言活動」を積極的に行う方針のもと、市議員と当所部長と直面する各業界の話題についての懇談会の開催を行いました。また、「地元中小企業者への受注機会の拡大についての要望」に対して十二月市議会において議員発議により新発田市の中小企業の育成振興を促進し、受注機会の増大することによる地域産業の活性化に関する「新発田市中小企業活性化推進条例」が制定されました。これを受け、市内事業者団体として地元に対しての社会貢献活動を検討し、地元での災害が発生時に協力活動する団体として、隣接する商工会とも連携し、「新発田地区防災協議会」を設立し、市と「災害時における協力に関する協

定」を締結し具体的な活動計画策定に入りました。

農工商等連携事業として新発田の地域資源としての農産品を都心部へ発信する新たなビジネスモデルを作ることを目的に、地域資源アドバイザー制度を創設し、第一段として新発田産「アスパラ」を新発田市食料・農業振興協議会と連携し「紀ノ国屋」での実験販売、その後の継続取引も実現し、更なる取扱店と品目の検討を行いました。

中小企業相談所として景気低迷の影響から事業所からの相談も時間がかかる案件が多く、相談件数には大きな伸びはなかったものの、県のセーフティーネット融資等に対応するため「年末金融相談窓口」を開設しました。なお、国等の制度融資斡旋については件数・金額ともに前年を上回

りました。また、ローカル支援センター事業についても専門相談員による、新潟産業創造機構等の関係機関との連携を図りながら多様化する経営革新のニーズに対応いたしました。

まちづくり事業については、敬和学園大学が管理運営する、まちの駅「よるぞ」新発田学研究センターでの市民や事業者との連携事業の他、新たに駅前に空き店舗を活用し学生自らが経営するカフェ「TOS」を開店し地域との交流空間づくりや、昔あった新発田朝市「十二斎市」の開催、そして新規企画として文学による人材発掘とアイデンティティの創造を目的に県・市の協力により第一回「阿賀北ロマン賞」の創設等、各種「まちの駅事業」を実施いたしました。



新発田商工会議所通常議員総会